



水稲営農だより



令和3年第4号[6月16日発行]

JA つがる弘前
弘前地区営農係

～こまめな水管理で茎数の確保に努め、カメムシの密度を減らすため、畦畔の管理を徹底しましょう。～

・生育状況

		移植時苗調査			本田調査(6月10日)		
		草丈(cm)	葉齢(葉)	第一鞘高長(cm)	草丈(cm)	茎数(本)	葉齢(葉)
薬師堂(つがるロマン)	本年	19.7	4.0	3.1	27.8	4.3	4.6
	平年	16.3	3.1	3.6	27.8	5.3	5.4
小栗山(まっしぐら)	本年	15.4	3.1	3.0	30.2	5.4	5.1
	平年	15.7	2.8	3.8	27.8	5.3	5.4
松木平(青天の霹靂)	本年	21.5	3.1	4.0	31.8	6.3	4.6
	平年	17.4	3.0	3.7	32.3	5.5	4.6

・生育状況

今年は田植え時、また、その後も天候にも恵まれ生育は、ほぼ順調に推移しています。

分けつ促進を図るためにも引き続きこまめな水管理を行いましょ。

また、畦畔の見回り草刈などしっかりとした管理を行っていきましょう。

・水管理

- ① 暖かい日(平均気温20℃以上)は2～3cm程度の浅水で、水温と地温の上昇を図り生育を促し茎数の確保に努めましょう。
- ② 寒い日(平均気温20℃以下)は4～5cm程度のやや深水で保温に努め養分の消費を抑えましょう。

・除草剤(中期剤)

薬剤名	使用時期	使用量(10a)	散布方法
セカンドショットS ジャンボMX	ノビエ3.5葉まで 収穫45日前まで	500g	湛水散布 (小包装のまま投げ入れる)
レプラス1キロ粒剤	ノビエ4葉まで 収穫60日前まで	1kg	湛水散布



ホタルイ
オモダカ



ミズアオイ



ヒエ
クログワイ



写真1:タイシエ 写真2:イヌシエ(株が開帳している) 写真3:ヒメシエ

・除草剤(後期剤)

雑草の種類	薬剤名	使用時期	使用量(10a)	散布方法
ノビエ	クリンチャー1kg粒剤	ノビエ4葉期まで収穫30日前まで	1kg	湛水散布 (水深3～5cm)
		ノビエ5葉期まで収穫30日前まで	1.5kg	
広葉	クリンチャーEW ※展着剤を加用	ノビエ6葉期まで収穫30日前まで	100ml (1000倍)	落水散布
	バサグラン粒剤	収穫60日前まで	3～4kg	落水散布
ノビエ、広葉	バサグラン液剤	収穫50日前まで	500ml (200倍)	
	ノビエ、広葉	ヒエクリーン バサグラン粒剤	ノビエ4葉期まで収穫60日前まで	3kg
クリンチャーバス ME液剤		ノビエ5葉期まで収穫50日前まで	1000ml (100倍)	落水散布

青天の霹靂で使用できる中後期除草剤は、下記の2剤のみ使用できます。

・バサグラン(粒)またはバサグラン(液)のどちらか1剤

・クリンチャー1kg粒剤またはクリンチャーEWのどちらか1剤を使用できます。

※液剤使用の際は、雑草の先端から根元までまんべんなく散布してください。

・中干し(6月下旬～7月上旬頃)

- ① 茎数が株当たり20本確保できた圃場では、田の面に少し「軽くひび」が入る程度中干しを実施しましょう。
※生育が遅れている場合や、平均気温が20℃を下回るような低温時には中干しは行わないようにしましょう。
- ② 幼穂形成期までには終わるようにし、幼穂形成期からは天候に関係なく10日間は常に10cm前後の深水管理深水にしましょう。

① 中干しの効果

- ・窒素の効きすぎを抑える→稲を丈夫にする。
- ・下位の節間伸長の防止→倒伏の軽減。
- ・有害ガスの除去、根腐れ防止、土壌への酸素の供給→根の活性化。



軽くひびが入る程度

※追肥は幼穂形成期(ロマン平年7/13頃)から2～3日後に葉色が淡くなったことを確認して行ってください。

・カメムシ対策

畦畔ならびに周囲の草刈りは7月20日頃までは定期的に行い、カメムシの密度を減らすようにし、7月20日～8月31日頃まではカメムシを水田に追い込まないように草刈りは実施しないようにしましょう。

・病気防除

病名	薬剤名	使用量	防除時期	散布方法
いもち病	オリブライト粒剤またはオリブライト豆つぶ剤	1kg/10a 250g/10a	中干し前	湛水散布(水深3～5cm) 散布後、4～5日間は湛水状態にし、田面を露出させないようにする。
稲こうじ病	Zボルドー粉剤DL	4kg/10a	出穂10日前まで	発病後は効果がありません。(散布平年7月20日～25日頃)